



えんがく  
便り

海の思い出

三河湾に浮かぶ竹島には長い橋を渡り、島の社を左回りに行くと言の飛び出たところがあり、私たちはそこを竜神岬と呼んでいた。沖を行く貨物船や漁船を漫然と眺め、啄木に心酔し歌集を手に「東海の小島の磯の白砂にわれ泣きぬれて蟹とたむむる」など口ずさんでいた青春の日の思い出。(名華文)

気軽に海を渡る事ができるようになりました。情報でよその国を知り、比較することもできる世の中となりました。日本は先進国の中でジェンダー指数が低いと伝えられますが、宗教・慣習・気候など背景に違いがあります。何より大切なのは人間の尊厳。末期の日まで自分らしく生きられる国が好しい。(すみちゃん)

海辺に生まれ育ったので、海は身近なものだが、孫たちの海の何故の答えに悪戦苦闘。夢や希望を盛り込もうと言葉を選ぶ。この刺激が私の命に左右すると思うと頑張れる。100年時代といわれるこの頃、刺激ある生活をお勧めします。(じば)

子どもの頃、家族で海水浴に行ったとき、私と妹が乗っていたゴムボートが波でひっくり返った。私は自力でなんとか岸へたどり着いたものの、幼かった妹は流された。



No.43



### △ハモン博士のまとめ

「海の日」は、1995年に「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う」ことを趣旨に国民の祝日となった。海を越えることが生死を掛ける時代から簡単に越えられるようになった現代において、海は自然の美しさや豊富な魚貝など恩恵を与えてくれるものではあるが、時々厳しい自然の怖さを教えてくれるものでもある。

四方を海に囲まれた島国である以上、海に対する感謝と畏怖を忘れず過ごしたいもんじゃ。



問合せ先

おおくち男女共同参画懇話会（地域協働課）

☎ 95-1691

海水浴に行く、魅力的な方がいらっしやる。「誰見てるの?」といって彼女とケンカになる。分かっているが、ついつい目で見つめてしまつた。「自分だって!」と反論しても、「私は目の保養で下心はない」とバツサリ。…これも平等に扱ってください。(俺)

大人たちが大騒ぎをする中、沖合で一瞬浮かび上がった妹を、すかさず抱きあげてくれた人に助けられ、事なきを得た。以来、海は苦手になった、でも嫌いではない。(チャーミー)

## Be Ambitious

vol.301

町内にお住まいの  
20代の皆さんがリレーで登場!

## 人との関わりが好き

廻 瑞季さん(中小口) H9・9・12生



部活の思い出

中学から吹奏楽部。進学した高校の吹奏楽部は強豪で、

京都の魅力はいろんな遊び方ができること。グルメ、寺院などの建築、景色など、その時々でテーマを決めていろいろな友達と一緒にいきます。一番最近では、嵐山で浴衣を着てその土地の人になった気分を味わってきました。

ついていけないと思いましたが、先輩の熱い勧誘で入部を決めました。高校からトロンボーンに転向。自分でスライドして音程を決めるので耳が良くなければならず、苦労しました。うれしかったのは、同じトロンボーン先輩が初めて褒めてくれたとき。実力があり、人にも自分にも厳しかった先輩が「あなたの音は柔らかくて音質がいい」と言ってくれて、頑張ったかいがあったととてもうれしかったです。

旅行が大好き

趣味は旅行です。特に京都が大好き。大学生になってから年に3〜4回行っています。



▲友だちと、東京ディズニーランドにて